## 別記様式第二十一号(第十六条関係)(平8法省令61·全改、令元法省令18·一部改正) 障害給付年金差額一時金請求書

(給付を行う者の官職氏名)						請求公	年月日:	年	:	月	日	
法	務 大 臣						請求者住所					
下記の障害給付年金差額一時金を請求します。							氏 氏 被害:	名 <sub></sub> 者との続标	₩		· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
1.	被害者 に関す る事項	(死亡時の障害等			害等級	及)	(氏	名)	年	月	E	3生
	つ <del>すり</del>		級				(死1	二年月日)	年	月		日
		(即	花存降	章害と	その種	星度)						
2.	障害給付年金 が支給されて いた場合			(年金	証書習	<b>备号</b> )	(支給された年金額の合計)					
障害給付年金差額一時金請求額の計算				第		号						円
	障害給付 前払一時		(年金	証書習	昏号)	(支給された前払一時金の額)						
	支給されてい た場合			第		号						円
	総					計						円
	受給権者	≝の氏	名	被害	者との	の続柄	(給付	·基礎額)	(倍数)	た び 時	年 <del>全</del> 前担	れ及一額
							(	円× 1	< –	-0)	総計	円)
							×		—=			円
						(受	給権者の	数) ———				
3. 障害給付年金差額一時金の請求額												円
<b>※</b> 4	. 決	定		年	月	日	<b>※</b> 5.	決定金額	頁			田

## (記入上の注意)

- 1 請求者は、※印の欄には記入しないでください。
- 2 「(既存障害とその程度)」の欄には、既に障害のある被害者が、法による給付の原因によつて同一部位について障害の程度を加重した場合における加重前の障害及びその等級を記入してください。

(日本産業規格A列4番)